



ドキドキ・ワクワク幼稚園

花組 尾川

今年度花組は13名の子どもたちを迎え、幼稚園生活がスタートしました。初めての幼稚園生活にドキドキ・ワクワクしているのが子どもたちの表情から伝わってきます。「いってきまーす!」「また迎えに来てね。」とお母さんたちと笑顔で離れたかと思うと、遊んでいる途中でふとお母さんを思い出して、「お母さんに会いたくなかった…」「お母さん迎えに来る?」と不安になる子どももいました。しかし、園では、楽しいこと面白いこと「これなに?」「やってみたい!」と興味をもつものがいっぱいあります。いつの間にか緊張や不安も忘れて遊んでいる子どもたちです。

入園してすぐに花組の子どもたちを歓迎するかのように、カマキリの卵が孵化してカマキリの赤ちゃんがたくさん生まれました。子どもたちは、興味津々です。「虫嫌い。」といていたAちゃんも「先生、見たい!」とじーっと観察していました。その日からAちゃんも虫に興味をもったようで「先生、ダンゴムシがここにいるよ。」「あそこにアリ」と自分から虫を見つけて、保育者に伝えるようになりました。



Bくんは、お母さんが帰ってから動かず、保育者が「これする?」「これも楽しいよ。」と誘っても、「しない」「嫌」の2つ返事。しかし、Bくんの様子を見てみると、砂場で遊ぶ様子を見ていたり、綿棒のスタンプでイチゴやダンゴムシをつくるのを見ていたり、「きつとやりたいのかもしれないな…」と思い何度か誘いましたが、その日はおままごとをして終わりました。次の日も、同じようにじーっと遊ぶ様子を見ていたのですが、3日目になると自分から「これする!」と保育者を誘って綿棒スタンプをし出しました。夢中になってして10個のイチゴ、8匹のダンゴムシをつくりました。自分のペースで自分のしたいタイミングで、そして自分の好きなことが見つかるように、13人の思いに向き合い応えていけたらと思います。

「また 明日も これしよう!」

風組 中原

入園式が終わって、初めて23人が揃う日の登園時間。大賑わいで、大混雑する風組保育室を見て、今年度も楽しい一年になると確信しました。花組さんから進級してきた元気いっぱい17名の子どもたちに6名の新しい友達加わり、ますます元気いっばいにパワーアップした風組が始まりました。

風組の新しい環境の中で、興味をもったことから順番に何でもやってみる姿や、昨年度から仲のいい友達と一緒に昨年度の遊びの続きをするかのような姿、ロッカーから自分用のマーカーや絵の具を大切に取出してきて使う姿など、一人一人がそれぞれにしたいこと見つけて楽しんだ4月でした。やってみたいことや楽しいことがあると「先生も一緒にやろう」と、保育者を誘ったり「これどうやるの?」「先生、手伝ってよ」と、保育者を頼ったりする姿が見られ、23人分の「先生!」という熱意が一齐に保育者へと注

がれます。そんな姿に触れると「私たち、少しずつ風組になっていっている」と、初対面の関係から少し前進したように感じられます。子どもたちが、感動したときや困ったときなどに、伝えたくなったり頼ったりできる存在になれるように、関係を築いていきたいです。

最近、風組の環境にも慣れて、自分のしたいことをして遊ぶ中で、近くにいる友達のしていることにも関心を広げていく様子もたくさん見られます。友達と同じものを身に付けて踊ったり、友達が昆虫をつくっている側に行き同じようにつくったりする姿や、「それどうやるの?」「その虫、どこにおったん?」「僕にもやらせて」と言葉にして伝える姿が見られます。友達と一緒に遊ぶことが、日に日に楽しくなっていくのが風組です。片付けの時間に「また明日もこれしよう!」という言葉が聞こえてくると、今日が楽しかったという気持ちが伝わり、私たちも安心です。



やる気満々! 星組さん☆

星組1 田中

15名の進級児に、1名の新しい友達加わり始まった星組1の生活も、3週間が経とうとしています。始業式の日の朝、新しい保育室にドキドキしながらも、「今日から星組さん!」という期待感に溢れた子どもたちの表情が印象的でした。憧れていた「星組のお兄さんお姉さん」になった喜びをみんなが感じているようでした。

風組のときに、星組さんから教えてもらった片付け後のパトロールもやる気満々!「先生、パトロール行ってきます!」と自分の片付けが終わるとさっと園内のパトロールに向かう子どもたち。なんと入園式前のまだ誰もいない花組さんのテラスの掃除まで!「ここまでやってくれたんだね!ありがとう。」と言うと、「だって星組だからね!」と返事が。いろいろな先生たちから、「さすが星組さんだね。」と言ってもらう場面が多くなり、照れながらもとても嬉しそうなお子様たちです。

先日、星組が年下のクラスの友達を歓迎する「なかよし会」がありました。グループごとに役割を分担して進行をしました。「なかよし会ではどんなことする?」と聞くと、風組の時の「お別れ会」での経験を思い出して、「初めの言

葉と終わりの言葉があったほうがいいよね。」「プレゼント渡そう。」と次々と出てきました。自分たちの経験を生かして考えている姿に、「すごい!こんな風に繋がって、成長しているんだな。」と感心しました。当日は、各保育室からイスを運んで準備をしたり、花組さんたちを招待しに行ったり大忙し。でも、みんなやる気満々なんです。会が始まる前には「みんなでもタッチをしようって言うんよね?」と確認し合う姿や「花組さんどこに座るかかわらんかもしれんから教えてあげよう!」「ちょっとドキドキするね。」とそれぞれの思いを持って臨む子どもたちの姿が見られました。花組さん風組さんから「楽しかった!」という言葉がたくさんもらい、なかよし会をやり返した星組のお兄さんお姉さんたちは一人一人とてもいい顔をしていました😊これから星組パワー溢れる子どもたちと過ごす1年が楽しみです。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。



んお姉さんたちは一人一人とてもいい顔をしていました😊これから星組パワー溢れる子どもたちと過ごす1年が楽しみです。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

星組としての新たな生活のはじまり

星組2 中野

進級した15名の子どもたちに1名の新しい友達を迎え、16名で星組2の生活がスタートしました。幼稚園で一番大きいお兄さん、お姉さんになった子どもたちは嬉しさいっぱい!やる気もいっぱい!張り切る気持ちが子どもたちの姿によく表れています。星組になるということは子どもたちの中でとても大きいことなのだな、と改めて思います。環境の変化にちょっぴりドキドキ、緊張する姿もありますが、その気持ちも新生活ならではの、張り切る気持ちも不安な気持ちも一人一人の気持ちに寄り添い、丁寧を受け止めながら、星組としての新たな生活に進んで取り組めるように願い、関わっているところです。

先日、子どもたちとカブトムシの幼虫の土の入れ替えを行いました。「もっと大きくなるように栄養たっぷりの新しい土にお引っ越ししようね」と話をし、飼育ケースから取り出してみると…幼虫がたくさん眠っていました。「うわ〜」とびっくりする姿、おそろおそろ触ってみる姿、遠くから眺める姿…と子どもたちの反応も様々。「見て!持てたよ」「まだあかちゃんだからそーっと触らんといいんのよ」「優しくね」という声がどこからともなく聞こえました。

これまで様々な生き物と接してきた子どもたちは、その経験を活かしながら幼虫と触れ合っているのだなと感じました。子どもたちと幼虫の数を数えてみると、なんと69匹もの幼虫が眠っていました。さっそく風組と花組にも分けてあげようと新しいらからかの土に幼虫を入れ、それぞれの保育室まで持って行きました。小さいクラスの友達は星組さんが来てくれた、なんだろう?と興味津々。そして見てびっくり!「うわあ〜」「きもちわるい〜!!」という率直な声もありましたが、星組の子どもたちが手の平に幼虫を乗せながら「ほら、大丈夫だよ」「大きくなったらかっこいいカブトムシになるんだよ」と優しく声を掛け、見せながら伝えていました。星組さんがそういうなら…とのぞき込む風組や花組の子どもたち。さっそく幼稚園の先輩として星組さんが活躍しています。

